

令和8年2月 24 日

令和7年度彦根藩資料調査研究会公開シンポジウム
「殿様の日常生活の解明 ―成果と課題、今後の研究―」

を開催します

このたび、彦根城博物館において、みだしのシンポジウムを開催しますのでお知らせします。つきましては、広報についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 趣旨

彦根城博物館では、令和3年度から5か年計画で、「殿様の日常生活」の解明をテーマとする彦根藩資料調査研究会を組織しました。本研究会は、国から文化芸術振興費補助金（文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業）を受け、外部の日本史研究者と共同で、井伊家当主（殿様）の生活実態の全体像の解明に取り組んできました。

本研究会が主な分析対象とした史料が「側役日記」（彦根藩井伊家文書）と呼ばれる、殿様の側でその政務活動を補佐した側役（彦根藩士）が記した業務日誌です。この日誌は、御殿の政務空間における殿様の行動を具体的に伝える重要な史料であり、当館に約70冊が伝来しています。このうち、半数以上が井伊家10代当主直幸の時代に連続して作成されたものであることから、本研究会では井伊直幸に焦点を当てて分析を進めることとし、同史料を中心に研究を進めてきました。

令和7年度は計画の最終年度にあたることから、本年度末に開催する研究会は、市民等も参加可能な公開シンポジウムとし、5年にわたって進めてきた本研究の成果と課題、今後の研究の見通しを広く紹介します。

2 日時

令和8年(2026年)3月29日(日) 午後1時～午後4時30分

3 発表タイトル・発表者

研究発表① 『側役日記』からさぐる直幸期の医者衆

発表者：有坂^{ありさか}道子^{みちこ}氏（京都橘大学文学部教授）

研究発表②「井伊直幸の暮らしと馬」

発表者：並木^{なみき}昌史^{まさし}氏（徳川美術館学芸部マネージャー）

研究発表③「井伊直幸の政務」

発表者：三宅^{みやけ}正浩^{まさひろ}氏（京都大学大学院文学研究科准教授）

4 会場・費用など

会 場：彦根城博物館 能舞台正面見所（彦根市金亀町1番1号）

定 員：70名（当日受付・先着順、受付は午後0時30分～）

参加費：500円

※展示室の入室には別途観覧料が必要

一般：700円（560円）

小・中学生：350円（280円）（ ）内は30名以上の団体割引料金

*常設展「“ほんもの”との出会い」も併せてご覧いただけます。

5 その他

シンポジウムで取り上げる古文書を当館展示室6にて展示します。

（展示期間：令和8年3月18日（水）～5月11日（月）、4月21日（火）・22日（水）を除く）

6 問い合わせ先

彦根城博物館学芸史料課「彦根藩資料調査研究会」係（担当：北野・竹内）

〒522-0061 彦根市金亀町1番1号

TEL：0749-22-6100 FAX：0749-22-6520